

平成30年度 山都町社会福祉協議会 事業実施報告書

【総論】

本年度も、社会福祉法第109条に基づき、地域福祉の推進を図ることを目的として、住民主体を基本理念に、30地区福祉会、ボランティア、民生児童委員、保健・福祉・医療・行政などの関係機関と連携を図りながら、事業計画書に沿って事業実施しました。

地域住民から寄せられる多様で複合的な課題を有する生活困窮者の相談や生活課題を受け止め、地域を基盤として解決につなげる支援や、支え合いの地域づくりを「地域密着の向こう3軒両隣の共助の精神で、誰もが安心充実して暮らせる福祉のまちづくり」のため、町民の皆さんからいただいた会費などをもとに様々な事業に積極的に取り組んでまいりました。

社協組織・活動体制の充実においては、2017年社会福祉法人制度改革に伴い定款変更し10名の理事、2名の監事並びに12名の評議員に就任頂き、新しい執行体制で事業を開始しました。今年度は、その定款変更後、初めての役員改選の年となっています。また、事務局次長を配置したことにより、事務局長の補佐として様々な場面での事務局長の負担軽減と、局長不在への対処も行うことができました。

行政及び関係諸機関との連携強化においては、「第6回 町内・集落福祉全国サミットin山都町」を開催するにあたり、事務局会議・分科会・実行委員会の打ち合わせを、行政と社協の担当者間で綿密に行い、それぞれの立場で意見やアイデアを出し合い、協力し合いながら進めてまいりました。延べ800名以上が参加され、盛会のうちに終えることができ地域福祉の輪が全国に広がることを期待できます。また、平成28年度開催予定であった“火の国ボランティアフェスティバル「復興上益城」”は、報告書にもあるように、全20回ものの会議を重ねて明日開催というとき、台風接近のため中止となってしまったことは、大変残念でした。

介護保険事業においては、介護報酬改定により、介護報酬がマイナス改定されたこと、要支援が日常生活総合支援事業へと移行となったことで、介護報酬の減と介護職員処遇改善加算が算定非対象となったことで、総体的に報酬の減となりました。処遇改善加算については、プラス改定され、介護職員への配分を行い処遇改善を図りました。

地域支え合い活動体制充実においては、地域福祉の要である30地区福祉会の活動支援や30地区福祉会長研修会、地区別福祉懇談会において、地域の実情と地域の集いが支え合いの基盤であります。それこそが地域にとっての「お宝」であり、このことが介護予防につながり、情報交換や地域見守りなどの効用があることに気づいていただく、住民意識の醸成に努めました。

新年度においても、誰もが住みなれた地域で安心充実して暮らせる地域共生社会を目指し、行政や各関係機関、団体と連携・協働し、住民に寄り添う社協ならではの各種活動を行ってまいります。

平成30年度山都町社会福祉協議会 事業実施報告もくじ

項 目		ページ
	総 論	1
1	会務の運営	3
2	監 査	4
3	地区福社会活動	5
4	地域福祉諸事業	10
5	ボランティア活動推進	23
6	人材育成	25
7	子育て支援	26
8	広報活動	27
9	関係機関・団体との連絡・協調	27
10	会費・寄付金・日本赤十字会費・赤い羽根 共同募金納入実績	28
11	各種事業実績	30
12	その他	33

1. 会務の運営

理事会及び評議員会

【理事会】

日 時	議 案 内 容
平成 30 年 5 月 24 日(木) 午前 10 時 00 分	① 平成 30 年度法人会計補正予算第 1 号承認について ②平成 29 年度事業報告並びに法人会計決算報告承認につ て（監事監査報告） ③定時評議員会の開催日時等の決定について その他
平成 30 年 12 月 3 日(月) 午後 2 時 00 分	① 平成 30 年度法人会計補正予算第 2 号承認について ② 平成 31 年度山都町社協補助金並びに委託料予算要求につ いて ③ 諸規程一部改正について その他・法人運営現況報告 ・第 1・三半期定期監査報告について ・事務局長選任について ・農作業で介護予防プロジェクト事業について ほか
平成 31 年 3 月 22 日(金) 午前 10 時 00 分	① 平成 30 年度法人会計補正予算第 3 号承認について ② 2019 年度事業計画並びに法人会計予算承認について ③ 平成 30 年度第 2 回評議員会の開催日時及び議案の決定 について ④ 諸規程一部改正について ⑤ 事務局長選任について その他 ・第 2・三半期監査報告について ・契約担当者(理事)の選任について ・2019 年度山都町社会福祉協議会補助金並びに施設 管理等業務委託料内示について ほか

【評議員会】

日 時	議 案 内 容
平成 30 年 6 月 22 日(金) 午前 10 時 00 分	① 平成 30 年度法人会計補正予算第 1 号承認について ② 平成 30 年度事業報告並びに社協法人会計決算報告承認に ついて(監事監査報告) その他
平成 31 年 3 月 29 日(金) 午後 2 時 30 分	① 平成 30 年度法人会計補正予算第 3 号承認について ② 2019 年度事業計画並びに法人会計予算承認について その他 ・第 2・三半期監事監査報告について ・2019 年度山都町社会福祉協議会補助金並びに施設 管理等業務委託料内示について ・新年度からの事務局長について ほか

*役職員研修

日 時	平成 30 年 7 月 17 日 (火) 午後 1 時 30 分～3 時 20 分
会 場	KKR ホテル熊本 1F 有明・不知火
内 容	市町村社協トップセミナー
参加者	理事 10 名、監事 2 名、職員 4 名

2. 監 査

*社協監事決算監査

期 日	平成 30 年 5 月 16 日 (水) 午前 9 時～ 平成 30 年 5 月 17 日 (木) 午前 9 時～
場 所	山都町社会福祉協議会・本部会議室
内 容	平成 29 年 12 月～平成 30 年 3 月期並びに年度決算 監査

*定期監査

1 回目	日 時	平成 30 年 9 月 18 日 (火) 午前 9 時～
	場 所	山都町社会福祉協議会・本部会議室
2 回目	日 時	平成 31 年 2 月 21 日 (木) 午前 9 時～
	場 所	山都町社会福祉協議会・本部会議室

*社会福祉法人指導監査

1. 日 時	平成 30 年 11 月 22 日 (木) 午前 10 時～午後 3 時
2. 場 所	社協本部会議室
3. 監査事項	平成 29 年度 組織運営状況 事業実施の状況 会計経理の状況 職員処遇の状況
4. その他	指導監査講評時の立会い者 山都町役場 福祉課長 坂口広範 様 山都町社協 副会長 江藤 豊 様 山都町社協 監事 田中 要 田中今朝美 様

*顧問経営アドバイザー巡回監査(月例)

3. 地区福祉社会活動

* 山都町 30 地区福祉社会会長研修会

日 時：平成 30 年 5 月 11 日(金)午後 2 時～午後 5 時

会 場：矢部保健福祉センター千寿苑

内 容：・行政説明

「山都町役場福祉課の新体制と介護予防・日常生活支援総合事業について」

山都町役場 福祉課長 坂口 広範氏

高齢者支援係 保健師 松本 文子氏

・講演「山都町の地域福祉について」

講師 ひとちいき計画ネットワーク

代表取締役 佐伯 謙介氏

・意見交換会

参加者：42 名(地区福祉社会会長 29 名、社協職員 7 名、福祉課職員 6 名)

* 清和地区福祉委員研修会

日 時：平成 30 年 6 月 16 日(土)午前 10:00～12:00

場 所：清和保健センター

内 容：1、福祉委員の役割について

2、講演「地域でできる認知症予防」

講師 株式会社 Re 学 代表取締役 川畑 智氏

参加者：59 名

* 山都町 30 地区福祉懇談会開催

・清和地区

(内 容)

① 社協会費等の実績報告と清和地区福祉委員研修会のアンケート結果説明

② 山都町生活サポートセンターの事業説明

③ 防災福祉マップの更新・情報共有

④ 地域の支え合い活動について

地域の支え合い活動については、代表者に活動を紹介していただき、それぞれの訪問活動は月に 1 回程なので福祉委員さんの協力のもと。孤独死が地域から起きないように日頃の見守りを意識する情報共有を行いました。

(出席者) 143 名

地域福祉を支える会会長・役員、福祉委員、区長、民生児童委員
自治振興区会長、老人クラブ会長、女性部長、消防団員、
社協理事・評議員、町議会議員、福祉係職員、社協職員

	期 日		支える会名	場 所	出席者数
1	7 月 5 日 (木)	19:00	朝 日	鶴底公民会	23
2	7 月 10 日 (火)	19:00	清 北	郷野原公民館	20
3	7 月 12 日 (木)	19:00	小 峰	元小峰公民館	30
4	7 月 17 日 (火)	19:00	西 木	西緑川多目的集会所	18
5	7 月 21 日 (金)	13:30	緑 川	清流館	11
6	7 月 19 日 (木)	19:00	清 和	清和保健センター	41

・矢部地区

(内 容)

①地域の支え合い活動について

まずは地域の現状を数字で見えていただき、地域福祉を担う方々の役割、見守り活動について等を話す。

②グループワーク

平成 29 年度の地区別福祉懇談会にて、「地域課題は福祉だけではない、もっと小さな単位での見守りや地域の仕組みづくりが必要ではないか」という声があり、平成 30 年度はそれぞれの地区で今出来ていること、こうした方がいいのではないかなと思うことを話し合ってもらった。

※今出来ている何気ない見守りや支え合いを確認することができた。

この関係を保ち続けることの大切さを共有することができた。

③支え合い活動の事例紹介

それぞれの活動について互いに認め合い、それが誰もが住みよい地域づくりへの第一歩となる事をお伝えした。

(出席者) 251 名

地区社協会長、地区社協役員、福祉委員、区長、民生児童委員
自治振興区会長、老人会会長、シルバーヘルパー代表、青少年健全
育成委員、女性部代表、公民館支館長、地域部長、生活安全部会
体協長、自主防災、消防団、地域ボランティア、町担当職員
社協理事・評議員、役場職員、社協職員等

期 日		地区名	場 所	出席者数
11 月 9 日 (金)	19:00	白糸第一	通潤交流館	34／51
11 月 12 日 (月)	19:00	白糸第二	笈石公民館	11／17
11 月 14 日 (水)	19:00	白糸第三	出野公民館	13／23
11 月 16 日 (金)	19:00	御岳東部	皆和	24／35

11 月 19 日 (月)	19:00	御岳西部	入佐公民館	13／21
11 月 21 日 (水)	19:00	下矢部東部	旧下矢部東部小学校	18／31
11 月 26 日 (月)	19:00	下矢部西部	旧下矢部西部小学校	17／31
11 月 28 日 (水)	19:00	下名連石	憩いの家	19／30
11 月 30 日 (金)	19:00	御所	旧 JA 名連川支所	20／28
12 月 3 日 (月)	19:00	中島西部	ふれあいセンター	17／36
12 月 5 日 (水)	19:00	中島東部	水の田尾公民館	19／52
12 月 7 日 (金)	19:00	中島南部	島木改善センター	8／20
12 月 10 日 (月)	19:00	浜町 A	中央公民館	11／30
12 月 12 日 (水)	19:00	浜町 B	浜 B 地区公民館	12／24
12 月 14 日 (金)	19:00	浜町 C	千寿苑	15／39

・蘇陽地区

(内 容)

- ①山都町の高齢化や人口の増減の様子を説明する。また、地域に出向いて取材した地域のお宝（社会資源）を紹介
- ②生活サポートセンターについての説明。
- ③小地域ごとの要援護者見守り台帳と福祉マップを活用して地域ごとに見守りの情報交換を行った。

(出席者) 115名

社協理事、評議員、自治振興区会長、区長、民生委員・児童委員、健康福祉部、女性部、老人クラブ役員、単位老人クラブ女性部、消防団、シルバーヘルパー

	期 日		校区名	場 所	出席者数
1	7 月 4 日 (水)	19:00	花上	花上多目的集会所	13
2	7 月 6 日 (金)	19:00	馬見原	馬見原公民館	25
3	7 月 9 日 (月)	19:00	上差尾	上差尾公民館	17
4	7 月 12 日 (木)	19:00	長谷	長谷交流館	11
5	7 月 19 日 (木)	19:00	二瀬本	二瀬本コミュニティセンター	14
6	7 月 24 日 (火)	19:00	東竹原	東竹原老人憩いの家	14
7	7 月 27 日 (金)	19:00	大野	西部地区交流館	9
8	7 月 30 日 (月)	19:00	橘	橘交流館	12

＊各支部活動

・清和地区地域福祉を支える会

①会長会議

	日 付	時 間	場 所	内 容
1	5 月 11 日 (金)	14 : 00	千寿苑	① 平成 30 年度活動助成金について ② 平成 30 年度事業について ③ 福祉委員研修会について ④ 地区別福祉懇談会について ⑤ 支える会活動支援について ⑥ 清和地区代表会長選出
2	9 月 11 日 (火)	10 : 00	社協本部 相談室	① 日赤・社協会費収納状況、共同募金について ② 地区別懇談会のまとめについて ③ 第 6 回町内・集落福祉全国サミット熊本 in 山都町について ④ 支える会活動支援について
3	3 月 1 日(金)	16 : 00	社協本部 相談室	① 次年度の生きがいと健康づくりについて ② 第 6 回町内・集落福祉全国サミット熊本 in 山都町報告 ③ 社協会費、共同募金実績について ④ 平成 30 年度事務費請求について ⑤ 平成 31 年度活動助成金について ⑥ 平成 31 年度各事業について

②各支える会福祉まつり開催

日 付	時 間	支える会名	場 所
10 月 21 日(日)	9:30	小峰	旧小峰小学校グラウンド・体育館
10 月 28 日(日)	10:00	西木	元木原谷小学校体育館
10 月 30 日(月)	10:00	朝日	鶴底公民館
11 月 3 日(土)	9:30	清北	郷野原公民館
11 月 10 日(土)	8:30	清和	清和文楽館広場 清和基幹集落センター
11 月 23 日(金)	9:00	緑川	緑仙峡キャンプ場・清流館

・蘇陽自治振興区福祉会

①蘇陽地区福祉会会長会議

	日 付	時 間	場 所	内 容
1	5月11日 (金)	14:00	矢部保健福祉 センター千寿苑	① 年間行事日程説明 ② 代表者副代表者選出 ③ 町内・集落福祉全国サミット in 熊本山都町について ④ 地区別懇談会について ⑤ 福祉団体助成金について
2	9月7日 (金)	15:00	蘇陽支所 社協会議室	① 町内・集落福祉全国サミット in 熊本山都町について ② 地区別福祉懇談会について (お礼)
3	3月15日 (金)	16:00	蘇陽支所 社協会議室	① 地区別福祉懇談会について (振り返り) ② 町内・集落福祉全国サミット in 熊本山都町について (報告) ③ 各地区活動報告 ④ 福祉団体助成金報告書について

・矢部地区社会福祉協議会

①会長会議

	日 付	時 間	場 所	内 容
1	5月11日 (金)	14:00	矢部保健福祉 センター千寿苑	第1回矢部地区社協長会議 ①自己紹介及び会長、副会長選出 ②H30年度地区社協活動助成金について ③今後の主な会議や行事について ・地区別福祉懇談会、集落サミット等
2	8月22日 (水)	19:00	矢部保健福祉 センター千寿苑	第2回矢部地区社協長会議 ①地区別福祉懇談会について ②第6回町内・集落福祉全国サミット in 熊本・山都町について
3	2月26日 (火)	15:30	矢部保健福祉 センター千寿苑	第3回矢部地区社協長会議 ①地区別福祉懇談会振り返り ②H30年度事業報告及びH31年度事業内容申請について

＊地域力の見直しと維持向上の研究

【お宝さがし講座開催】

講師：特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター
橋本 泰典 氏

平成30年6月21日 (木)

10:00～ 職員勉強会

13:00～ 御岳ゲートボール仲間

19:00～ 菅尾自治振興区
平成 30 年 6 月 22 日（木）
13:00～ 浜町 A 地区社協
15:30～ 職員勉強会

* 地域福祉推進フォーラム

期 日 平成 31 年 1 月 25 日（金）午前 10 時 20 分～
会 場 熊本県立劇場 コンサートホール
内 容 基調講演「地域共生社会の構築に向けて」
講師 大分大学福祉健康科学部長
衣笠 一茂氏

・トークセッション

- 震災からの復興に向けたまちづくりの取組み
一般社団法人 石巻じちれん 会長 増田 敬氏
事務局 山根 康宏氏
- 地域における生活支援の取組み
日之影町社会福祉協議会事務局長 一水 英喜氏
- コーディネーター
大分大学福祉健康科学部長 衣笠 一茂氏
「くまもと暮らし安心システム推進モデル事業」事業説明・実績報告
天草市社会福祉協議会 福祉のまちづくり課
課長 田畑 国久氏
山都町社会福祉協議会 蘇陽支部長 山村 哲也氏
南小国町社会福祉協議会 事務局係長 佐藤 新一郎氏
参加者 26 名（評議員 2 名、地区福祉会長 17 名、社協職員 7 名）

4. 地域福祉諸事業

* 地域福祉活動推進

・地域福祉活動計画推進委員会

日 時 平成 30 年 5 月 23 日（水）13:30～
場 所 清和山村基幹集落センター
内 容 ①経過概要説明
②講演「山都町の地域福祉について」
講師 ひとちいき計画ネットワーク
代表取締役 佐伯 謙介氏
③29 年度の取り組み及び 30 年度の予定について
④意見交換
参加者 17 名（委員 16 名、職員 7 名）

地域支え合いセンター

平成 28 年熊本地震における被災者（応急仮設、みなし仮設、在宅等）の孤独死防止などのため見守り支援と日常生活上の相談支援や専門機関

へのつなぎ、生活支援、住民同士の交流機会の提供、地域社会への参加促進等、被災者に対する支援を一体的に提供できる体制の構築を図ることを目的として、町民すべてを対象として事業展開した。

平成 30 年度地域支え合いセンター事業 実績書

《再建状況》

No.	住まい形態	世帯数	再建済	再建中	計画	検討中
1	応急仮設住宅	6 世帯	3 世帯	0 世帯	0 世帯	3 世帯
2	みなし仮設	13 世帯	11 世帯	1 世帯	1 世帯	0 世帯
3	公営住宅	11 世帯	10 世帯	1 世帯		

事業区分	事業実績
個別支援	<p>○訪問数：1,491 回</p> <p>○訪問対象者：半壊以上再建の進まない世帯や被災状況にかかわらず課題ある世帯を中心に全町民対象に訪問する</p> <p>○支援内容</p> <p>（１）総合相談受付・状況把握・現状分析</p> <p>（２）関係者へのつなぎ：専門機関、家族、商店、地域等</p> <p>（３）再建に係る情報提供・手続き支援</p> <p>（４）相談会同席・専門機関と同行訪問（調整）</p> <p>（５）個別検討会開催・町の相談会調整協力（家族の調整）</p> <p>※被災から 2 年を経過し再建状況二極化に対した支援となった。建物の再建が済んだ後の事務的な手続きが進まない世帯への支援、建物の再建が進まない世帯への支援において、共通する点として、理解をしていただくための説明支援に時間を要した。納得していただけるよう専門機関と同行訪問や相談会同席、申請に必要な書類の案内または家族にも協力していただけるようなつなぎや相談日程調整等を行った。合わせて進まない背景にある生活課題を掘り下げ情報共有をはかるため民生委員等地域情報を取り入れながら関係機関での検討会議を行い課題解決に取り組んだ。</p> <p>※建物に関しての再建が落ち着いた世帯においてもその後の暮らしぶりには目を向け地域の関係性を生かした見守り活動ができるようにつなぎをし通常の見守りに移行できる環境整備に気を配りながら支援をした。</p>
地域支援	<p>◎サロン等の運営協力</p> <p>○支援回数：82 回 1,671 人</p> <p>○支援対象：応急仮設、他山都町全域</p> <p>既存サロン等支援、新規サロン等立ち上げ支援</p>

	<p>① サロンメニューの支援（職員派遣・ボランティア調整・遊具貸出）</p> <p>② サロン立ち上げのための相談・内容企画・呼びかけ チラシ作成協力</p> <p>※応急仮設 3 世帯が再建し仮設を出たため、地域のサロンの活用に変更して支援。もともとの繋がりはあるため問題はないが、取り残され感や否めず、個別の支援を強化した。時間の経過とともに年も重ね体力や気力の低下もあり、今後を考える事も避けたい心情はいくらなじみの地域であっても語り合うことは難しい事が伺えた。</p> <p>※町事業の集いの支援をする中で、もっと小さな単位でサロンを立ち上げたい思いを拾い立ち上げのため、サロン交流会や手工芸講座の参加導きをしたりした。なるべく初めから住民主体で始められるよう時間をかけて見守り、求められる点を支援する形で対応した。</p> <p>◎支え合いのしくみづくりについて語り合う</p> <p>○30 地区福祉会運営協力：地区懇談会参加</p> <p>○老人会運営協力：例会やシルバーヘルパー講習等に参加</p> <p>○各種団体ごとの会議参加</p> <p>○町内・集落福祉全国サミット開催：10 月 27、28 日</p> <p>※山都町内外の参加者の皆さんと熊本地震災害復興の中から生まれた支え合いや災害復興で見てきた元からある支え合いを評価し、今後の支え合いのありかたについて考える機会となった。</p>
研修	<p>○県主催研修参加（ブロック会議含む）述べ 32 回</p> <p>※職員のスキルアップ、建物再建についての情報収集、他センターとの交流などができ支援力の向上をはかった。</p> <p>※研修の中で山都町の活動報告をさせて頂く機会に恵まれ、改めて活動についての振り返りと今後の課題が見いだせる機会となった。</p> <p>○山都町内社会福祉法人連絡会研修開催 2 回</p> <p>※被災を切り口に、各法人の連携と社会福祉法人に課せられた公益的取り組みについて検討することができた。被災者支援において、障がい施設運営しておられる法人から判断能力の低い方の支援はその方の代わりに判断してくれる方の存在を確保することも必要ではないかと支援の助言もいただくこともできた。</p> <p>○浜町地区福祉委員等研修会開催 1 回 21 名参加</p> <p>※見守りの要となる福祉委員等の交流と情報共有の場とすることができた。貸し出し用遊具を実際に使いサロン運営にいかしていただけるようにした。サロンは先ずは福祉委員さんが楽しめる会になることが大切であることを感じ取っていただける機会とした。又、サロンは見守りの一環であり、参加している者同士気遣い合える関係性の構築や強化、そしてサロンに来ない方を気遣い合うことの重要性を理解する場ともなった。</p>
会議	<p>○スタッフ会議 37 回</p>

	<p>ケース検討会 制度の勉強会連携について 検討会連携会議検討等</p> <p>○連携会議 12 回</p> <p>町・県関係職、上益城地域振興局、支え合いセンター支援事務所、困窮者自立支援等</p> <p>○支部単位連携会議 3 回</p> <p>29 年度の課題であった各支部での情報の共有強化の為に開催</p> <p>町支所関係職員 社協支部職員 支え合いセンター支援事務所</p> <p>○各種団体との連携会議：団体ごとの会議参加に変更</p> <p>民生児童委員定例会 30 地区福社会会議 法人連絡会</p> <p>包括地域ケア会議 子育て会議 厚生常任委員会（町議）</p> <p>ボランティア連絡協議会 ボランティア協力校連絡会議</p> <p>町内集落福祉全国サミット in 熊本山都町実行委員会</p> <p>※各種会議に参加させていただき、熊本地震後の山都町民の状況をお伝えし、単に被災のみの支援ではなく生活全般について見守り支援をする必要性と今後支え合いセンターが携わらなくても引き続き支え合いの関係性が必要であることを折にふれて伝えた。</p> <p>※役職を受けている人の困難な状況や担い手不足を把握しながら、長く活動できる工夫について意見を交わす機会も設けた。</p>
広報	<p>○社協機関紙「かたくり」活用</p> <p>○地域の集いや各種団体の会議等に参加し広報</p>

今後の取組・見直し方針

建物の再建が済んでいない世帯については、勿論再建を優先に支援をしなければならないが、そのことばかりにとらわれすぎず、被災からの時間の流れで、現在の不自由な生活に慣れやあきらめ等も現れてもいることで先のことを考える気力・体力低下している特に高齢者に対する支援は、丁寧に行わなければならないと考える。又、建物の再建は済んだ世帯においても、生活課題は生き物のように変化するし被災者からの心の奥にしまっておられた心配事をようやく話し始めてこられていることもあり、その後の暮らしぶりに目を向けていきたい。地域支援においては、支える側の体制を整えることに偏った支援であったと反省し、今後については支えられる側の意識改革や支える側も必ず支えられる側になりうることも視野に入れ、支えたり支えられたりと支え合いの関係性づくりにシフトしていきたい。

＊高齢者の生きがいと健康づくり、サロン活動職員派遣

地区社協、支える会、老人クラブ（蘇陽地区）で実施されている生きがいと健康づくり（町委託事業）や集いの広場（町モデル事業）また、自主的に実施されているサロン活動、各自治区の行事等の支援に職員を派遣した。

	事業名	社協支援回数	備考
1	生きがいと健康づくり事業 (地区社協、清和支える会、蘇陽老人クラブ)	59	生きがい健康づくりから 小地域での自主的サロン へと活動が広がった
2	自主的サロン	32	
3	老人クラブ活動	6	
4	自治区活動	3	
5	応急仮設住宅活動	4	原地区
6	集いの広場活動	4	モデル地区 緑川、大川

*レクリエーション道具の貸出

【年間貸出状況】

レクリエーション道具種類	矢部	清和	蘇陽	貸出回数
スカットボール		13	2	15
大型ジェンガ	2	2		4
川畑式認知症パズル		1		1
ボーリング	1	11	1	13
輪投げ		11		11
ペタボード		1		1
シャッフル&ゴルフセット		1		1
合 計				46

*生きがいサロン教室（蘇陽支部）

◇ それぞれが地域のサロンや集まり事で役立てて頂く為の事業 ◇

日時	利用者数	職員	備考
4月12日（木）	14	3	手工芸（こいのぼり）介護予防体操
5月10日（木）	12	2	手工芸（カーネーション）介護予防体操
6月14日（木）	15	2	手工芸（バラ作り）介護予防体操
7月12日（木）	15	3	手工芸（ブローチ、塗り絵）介護予防体操
8月9日（木）	13	3	手工芸（箸置きづくり）介護予防体操
9月13日（木）	16	2	手工芸（クラフトバンド、PPバンド） 介護予防体操
10月11日（木）	14	3	手工芸（ハロウィーン作り）介護予防体操

1 1 月 8 日 (木)	1 4	3	手工芸 (ランプの飾り) 介護予防体操
1 2 月 1 3 日 (木)	1 3	3	手工芸 (リース作り毛糸) 介護予防体操
1 月 1 7 日 (木)	1 2	3	手工芸 (写真立て作り) 介護予防体操
2 月 2 1 日 (木)	1 3	3	手工芸 (お雛人形) 介護予防体操
3 月 1 4 日 (木)	1 3	3	手工芸 (すいせん 2 本) 介護予防体操
合 計	1 6 4	3 3	

*生活支援

配食サービス運営の充実

※福祉課高齢者支援係と連携して事業を行った。

年間配食数 5, 4 3 4 食

*地域福祉総合支援事業 (県補助事業)

事業名:「農作業で介護予防」高齢者の生きがいと健康づくり事業

事業の目的: 高齢者が積極的に農作業に取り組み、その収穫物を年金以外の収益につなげる庭先集荷の体制づくりを構築し、高齢者の生きがいと健康づくりを支援することを目的とする。

事業実施期間平成 3 0 年度から平成 3 2 年度 (単年度補助の 3 ヶ年事業)

県補助率 3 分の 2 町 3 分の 1

高齢者へのアンケート調査の実施 9 1 9 通

プロジェクトチーム会議 4 回

先進地事例調査 高知県黒潮町、大分県臼杵市

*山都町生活サポートセンター事業

日常生活の中で、ゴミ出しや電球交換等のちょっとした生活課題や多種多様なニーズに応える事ができるよう住民同士の支え合い体制づくりを目的として山都町生活サポートセンターを立ち上げ運営を行う。

◇相談件数 6 件

◇活動実績

活動内容	依頼会員	協力会員	活動回数	延べ活動時間
ゴミ出し、買い物	1	2	33	16.5
通院時声掛け、 待合場所への誘導	1	1	12	6

山都町生活サポートセンター協力会員養成講座

日 時 平成 30 年 7 月 25 日 (水) 9:30～11:30
場 所 矢部保健福祉センター千寿苑
内 容 ①山都町の高齢者の現状と介護保険制度について
健康福祉課高齢者支援係 保健師 松本 文子氏
②ボランティア活動の心得について
熊本県社会福祉協議会
ボランティアセンター所長 藤本 武司氏
③山都町生活サポートセンターの仕組みについて

受講者 217 名

登録者数 60 名 (平成 31 年 3 月末現在)

活動報告会

日 時 平成 31 年 3 月 26 日 (火) 16:00～17:00
場 所 社協本部 相談室
内 容 自己紹介、活動報告、お困りごとについての情報
参加者 3 名

***視察研修受け入れ (受入支援)**

視察団体 福岡県 太刀洗町民生委員児童委員協議会 32 名
日 時 平成 30 年 6 月 26 日 (火) 13:30～15:00
会 場 矢部保健福祉センター千寿苑 多目的ホール
内 容 白糸第一地区社協の取り組みについて
受 入 白糸第一地区社協長 坂本憲義会長

視察団体 天草市五和民生委員児童委員協議会 30 名
日 時 平成 30 年 9 月 12 日 (水) 13:30～15:00
会 場 矢部保健福祉センター千寿苑 多目的ホール
内 容 山都町社協及び白糸第一地区社協の支え合い活動の
取り組みについて
受 入 白糸第一地区社協長 坂本憲義会長

視察団体 特定非営利活動法人
全国コミュニティライフサポートセンター 6 名
日 時 平成 30 年 11 月 12 日 (月) 10:00～11:30
会 場 小規模多機能ホーム 絆
内 容 下矢部地区社協の活動について
受 入 下矢部地区社協 福祉委員

視察団体 長崎県諫早市社会福祉協議会 22 名
日 時 平成 30 年 11 月 26 日（月）14：00～15：30
会 場 清和保健センター
内 容 山都町社協及び 30 地区福祉会の取り組みについて
参 加 30 地区福祉会代表会長

視察団体 宮崎県串間市福祉事務所 3 名
日 時 平成 31 年 1 月 31 日（木）13：30～15：00
会 場 社協本部 相談室
内 容 山都町における「住民主体の地域づくり」と「地区福祉会」の取り組みについて

視察団体 山鹿市 御岳校区地域づくり協議会 21 名
日 時 平成 31 年 3 月 17 日（日）10：00～11：30
会 場 通潤交流館（旧白糸第二保育園）
内 容 白糸第一地区社協の取り組みについて
受 入 白糸第一地区社協長 坂本憲義会長 福祉委員

***活動発表支援**

団 体 ラッキー南寿会 15 名 （生きがいと健康づくり）
日 時 平成 31 年 1 月 14 日（木）13：30～15：00
会 場 南田住宅集会場
内 容 白糸第一地区社協の取り組みについて

団 体 浜町 A 地区 30 名 （健康づくり教室）
日 時 平成 31 年 1 月 15 日（金）13：30～15：00
会 場 中央公民館
内 容 白糸第一地区社協の取り組みについて

団 体 福祉フォーラム 100 名 （高森町）
日 時 平成 31 年 3 月 30 日（日）10：00～12：00
会 場 高森町総合センター
内 容 白糸第一地区社協の取り組みについて

***「第 6 回町内・集落福祉全国サミット in 熊本・山都町」開催**

中山間地域では、急速な人口減少、少子・高齢化が進み、また過疎化やそれに伴う家族形態の変化により、集落機能の維持に影響を及ぼす課題となっている。一方、山都町では集落の文化や伝統を継承し、集落機能を維持していくため、集落で協力しながら持続可能な仕組みに変換していく、創意工夫や連携に溢れた実践がある。その実践に学び、住民主体による「やる気」と「元気」を町内、県内、

全国に発信するとともに、熊本地震からの復興、復興からの道筋、そして地域支え合いから地域づくりへ繋げて行くことを目的とし開催した。事前準備の段階で、役場福祉課を中心とした関係課との連携を図るとともに社協内においても職場の担当域を超えて全職員にて携わることで支え合いの地域づくりについて考える機会とすることができた。両日とも好天気恵まれ大きな事故もなく全日程を終了することができた。町外・県外からの参加者へ山都町から地域づくりを発信することができ参加者からはお褒めの言葉をいただくなど町内の自信にもつながった。また農繁期であったにもかかわらず町内からたくさんの参加者がおられたことは山都町住民の地域福祉への関心度が高いことの表れであり大変喜ばしいことであった。この大会で得たものを今後の地域づくりに活かしたいと考える。

開催日時：平成 30 年 10 月 27 日（土）、28 日（日）

会 場：山都町役場蘇陽支所

主 催：第 6 回町内・集落福祉全国サミット in 熊本・山都町
実行委員会

共 催：山都町 山都町社会福祉協議会

主 管：全国コミュニティライフサポートセンター（CLC）

後 援：熊本県 熊本県社会福祉協議会 熊本県町村会

参加者数：県外 のべ 85 名 町外 のべ 83 名 町内 のべ 640 名

《準備委員会等の開催》

★事務局会議 : 11 回 ★実行委員会 : 3 回

★分科会別会議 : 3 回 ★社協職員勉強会 : 2 回

★そ の 他 : 必要に応じ随時福祉課や社協内での検討・打ち
合わせ会、CLC や登壇者との相談・調整を行った。

《事例集冊子》山都町内を取材しその一部を紹介した

《集落サミット報告書冊子》サミットの振返りのみにせずこれからの
山都町の地域づくりに活かせるように作成した。

*福祉相談所開設

福祉相談（平日〈祝日を除く〉職員対応による常設開設）では、100 件の相談があり、法律相談は、弁護士による無料相談として 71 件の利用があった。

<開設日>

福祉相談 月曜から金曜日（土、日、祝日を除く）各支部職員にて対応

法律相談 12 回 毎月 1 回 第 3 木曜日 矢部→清和→蘇陽 巡回型

<時 間>

午前 10 時～午後 3 時

<場 所>

矢部支部 矢部保健福祉センター千寿苑内「相談室」

清和支部 山都町生活支援ハウス清楽苑内「相談室」

蘇陽支部 蘇陽支所内「会議室」

平成 30 年度 福祉・法律相談件数 . . . 100 件

福祉相談 42 件 法律相談 58 件

矢部 32 件
清和 4 件
蘇陽 6 件

矢部 29 件
清和 18 件
蘇陽 11 件

*法律相談所

相談内訳

(件数)

相談事項	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
	生計	年金	職業生業	住宅	家族	結婚	離婚	健康衛生	医療	精神衛生	人権法律	財産	事故	土地山林	児童福祉 母子保障	心身障害児(者)	母子・父子	相続遺言	借金貸金	その他	合計
合計	2		1	3	2		4				18	2	1	9				9	5	2	58

*地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）

<目 的>

認知症・知的障がい・精神障がいなどにより判断能力が不十分な方に対し、福祉サービスの利用援助を行うことにより、地域において自立した生活が送れるよう支援を行う。

<内 容>

社会福祉協議会と利用者が契約を結び、利用者の希望にもとづいた援助を実施する。生活支援員による援助を受けた場合、1回あたりの利用料は900円。

今年度は4名の新規契約と2名の解約があり、3月末時点で14名が利用されている。

<清和支部>

契約者 4名(8月に1名、2月に1名新規契約)

相談援助件数 238件

・認知症高齢者	1名	年間援助件数	112件
・知的障がい者	1名	年間援助件数	126件
・その他		相談件数	1件

<矢部支部>

契約者 契約者 10名(4月に1名、8月に1名解約、
6月に1名、9月に1名新規契約)

相談援助件数 884件

・認知症高齢者	3名	年間援助件数	386件
・知的障がい者	3名	年間援助件数	303件

・精神障がい者	2 名	年間援助件数	1 9 5 件
・その他		相談件数	1 件
<蘇陽支部>			
契約者	2 名		
相談援助件数	1 7 4 件		
・知的障がい者	1 名	年間援助件数	6 3 件
・その他	1 名	年間援助件数	1 1 1 件
・その他		相談件数	0 件
<生活支援員登録者数>	1 3 名	矢部地区	5 名
		蘇陽地区	2 名
<年間支援件数>	2 6 4 件	清和地区	6 名

*預かりサービス事業

本会が受託運営する施設入居者等へ対し、金銭管理に不安のある方が安心して自立した日常生活を送れるよう、通帳や印鑑、日常生活に必要な現金を本会金庫にて預かり、保全するための一連の援助を行う。

・契約者数 12 件

清和支部：清楽苑 8 件、

蘇陽支部：大久保高齢者住宅 2 件（※内 1 件 4 月解約）

矢部支部：権利擁護事業契約締結まで 2 件

（※内 6 月、9 月に 1 件ずつ解約の為、平成 31 年 3 月末現在 0 件）

*生活福祉資金貸付事業

貸付合計 10 件（平成 31 年 3 月現在） 1 件償還免除となった。

元 金	3,101,710 円
貸付利子	323,820 円
延滞利子	7,213,056 円
合計	10,638,586 円

償還状況 25 件（平成 31 年 3 月現在）

元 金	110,390 円
貸付利子	1,500 円
延滞利子	47,000 円
合計	158,890 円

平成 30 年度末現在貸付件数

清和地区	1 件
蘇陽地区	3 件
矢部地区	6 件
山都町合計	10 件

償還指導・相談会実施

(矢部支部)

日 時 平成 31 年 1 月 29 日 (火) 10:30～11:10
場 所 矢部保健福祉センター 千寿苑
指導対象 1 件
出席者 借受人、担当民生委員、県・町社協職員

(清和支部)

日 時 平成 31 年 1 月 29 日 (火) 11:25～12:00
場 所 矢部保健福祉センター 千寿苑
指導対象 1 件
出席者 担当民生委員 県・町社協職員

*生活困窮者援護事業

収入も無く、仕事もなく、電気・ガス・水道など止まってしまうなど生活に困窮された方を対象に、年金受給までの生活費の相談など、町福祉課、担当民生委員と協議の上、貸付を行なった。住所不定の放浪者の対応もあり、今後の対応について町福祉課と情報共有を行った。生活困窮者自立支援事業とも連携を行った。

支部	援護件数		返済件数	
矢部支部	2	30,000	2	10,000
清和支部	0	0	0	0
蘇陽支部	5	61,000	3	35,000
計	7	91,000	5	45,000

*生活困窮者等自立相談支援事業

平成 27 年度 4 月から生活困窮者自立支援制度の実施にあたり、生活困窮者自立支援法の必須事業である「自立相談支援事業」については、熊本県社会福祉協議会が事業受託者として町村社協と連携のもと、自立相談支援機関及び総合相談窓口として様々な問題を抱える生活困窮者等の相談・支援を担い対応した。

《相談件数 29 件》

- ・相談経路 町福祉課や民生委員、地域支え合いセンターからの情報や貸し付け事業との連携

○生活困窮者等自立相談支援事業、支援調整会議

開催日：毎月開催

場 所：御船町

内 容：具体的案件について協議

現況及び困難ケース等報告

○他機関等とのケース検討会議 8 回

【関係機関等】

福祉事務所（生活保護担当部署）、町福祉課（生保、障害、高齢者などの担当部署）、ハローワーク、医療機関、居宅介護支援事業所、その他介護事業所、保健所、障害者就業・生活支援センター、その他障害者支援事業所、学校・教育機関、弁護士、民生児童委員、一般企業、一般住民

○他機関・他職種との連携を必要とした事例

- ・世帯主 81 歳男性（下肢障害）、妻 74 歳（初期の認知症）、妹 79 歳（施設入所）

※相談当初は、「妹の施設利用費が支払えないため、お金を借りたい」という相談だった。実は、長男と折半で家のローンを組んでいたのに、長男が支払いをしなくなったことで、全額負担することになり、困窮していたケースだった。課題を家のローン返済と施設利用費の滞納の 2 つに分け、長男を含む子供たちとなんとか連絡を取り、家のローン支払いの目途がつき、施設利用費については、ケアマネージャーや施設管理者と協議の上、負担の少ない施設へ移り、妹本人の年金内で新しい施設の利用費及びこれまでの滞納分の支払いを捻出することになった。

*介護機器等貸付事業

寄贈を受けた車椅子やベッド等の介護機器の貸し出しを無償で行ない、少しでも長く在宅で過ごしていただくために貸し付けを行った。

《介護機器貸出し状況》

(67 件)

	車椅子	ポータブル トイレ	ベッド	歩行補助 用具	入浴補助 用具
清和	16	2	2	2	6
矢部	29	0	1	0	0
蘇陽	7	0	1	0	1
合計	52	2	4	2	7

*団体助成事業

町内で申請があった 30 地区福祉会、ボランティア団体、障がい者家族会等の団体に下記のとおり活動助成金の交付を行った。

40 団体 3,458,500 円

* 30 地区福祉会	矢部	15 団体	1,514,100 円
	清和	6 団体	540,500 円
	蘇陽	9 団体	755,400 円
* その他の団体		10 団体	648,500 円

5. ボランティア活動推進

*ボランティア連絡協議会「ゆいの会」活動支援

・総会

日 時	平成30年4月26日(金)	午前1時30分～
場 所	清和山村基幹集落センター	
参加者	51名	
交流会	山都町紹介映像鑑賞(上益城地域振興局作成)	

*第11回火の国ボランティアフェスティバル『復興くまもと』上益城・熊本市大会

日 時	平成30年9月29日(土)・30日(日)
場 所	市民会館シアーズホーム夢ホール(熊本市市民会館)

※台風接近の為中止

【実行委員会】

第2回

日 時	平成30年6月1日(金)	午前10時30分～
場 所	熊本市国際交流会館	

第3回

日 時	平成30年9月13日(木)	午後1時30分～
場 所	熊本市国際交流会館	

第4回

日 時	平成30年11月24日(木)	午後2時00分～
場 所	くまもと県民交流館パレア	

【運営委員会】

第2回

日 時	平成31年4月25日(水)	午後2時00分～
場 所	くまもと県民交流館パレア	

第3回

日 時	平成30年8月30日(木)	午後2時00分～
場 所	くまもと県民交流館パレア	

第4回

日 時	平成30年10月31日()	午後2時00分～
場 所	くまもと県民交流館パレア	

【キャッチフレーズ表彰式・大会フラッグ引継ぎ式】

日 時	平成30年10月21日(日)	午前10時00分～
場 所	嘉島町社会福祉協議会	

【専門部会】

日 付	時間	場 所	内 容
4 月 18 日 (水)	14 : 00	嘉島町社協	第 3 回合同専門部会
5 月 18 日 (金)	14 : 00	嘉島町社協	第 1 回事業企画専門部会
5 月 21 日 (月)	14:00	嘉島町社協	第 4 回合同専門部会
6 月 18 日 (月)	14:00	嘉島町社協	第 5 回合同専門部会
7 月 23 日 (月)	14:00	嘉島町社協	第 6 回合同専門部会
8 月 27 日 (月)	14:00	嘉島町社協	第 7 回合同専門部会
9 月 19 日 (水)	14:00	嘉島町社協	第 8 回合同専門部会
9 月 26 日 (水)	9:00	嘉島町社協	袋詰め作業
9 月 28 日 (金)	16:00	嘉島町社協	前日準備

* ボランティア推進校への助成事業

山都町社会福祉協議会 独自助成事業

・助成内容・・・1校あたり 30,000 円の助成

助成校 11 校 330,000 円

- ・清和地区 2 校 清和小 清和中
- ・矢部地区 6 校 矢部小 御岳小 潤徳小 中島小 矢部中 矢部高
- ・蘇陽地区 3 校 蘇陽小 蘇陽南小 蘇陽中

< ボランティア協力校情報交換会 >

ボランティア活動を担当されている教諭 8 名に参加していただき、
熊本県ボランティアセンター所長藤本武司氏より下記の内容について
ご講演いただいた。

意見交換では各学校の取り組みを始め、学校と地域の繋がりや地域
(の宝)を知る事についての意見や日頃感じている思い、悩み等を共
有する事が出来た。また、社協が出来る事リストを配布し、社協を活
用していただくよう呼び掛けを行った。

日 時 平成 31 年 2 月 22 日 (金) 午後 3 時～午後 4 時 30 分

場 所 蘇陽支所土地利用調整室

内 容 1. 講演「福祉教育における学校と社協の連携について」

講師 熊本県ボランティアセンター

所長 藤本 武司氏

2. 意見交換会

6. 人材育成

*熊本学園大学社会福祉学部ソーシャルワーク実習受け入れ

日 時：平成30年8月8日(水)～9月14日(金) 23日間

実習生：熊本学園大学 社会福祉学部 子ども家庭福祉学科 1名

・実習目標

- ①社会福祉協議会の役割、機能と社会福祉士の業務内容を理解する
 - ②地域の方々との関わりを通してコミュニケーションの取り方を学ぶ
 - ③面談の中で個人のニーズを把握するための留意点を知り、個別支援計画の作成方法を学ぶ
- ・実習受け入れを行うにあたり、社会福祉士実習指導者講習会の受講、実習指導者打ち合わせ会への参加、実習中の巡回指導対応、実習後の実習懇談会等へ参加した。

職場実習、職種実習、ソーシャルワーク実習を念頭に、地域支援と個別支援を計画し実習を行った。社協の各事業の取り組みを始め、地域福祉に対する取り組み、個別支援計画作成におけるニーズや周囲との関係性、地域資源等の把握の必要性を伝え、対人援助業務で求められる技術について指導を行った。

*福祉体験学習

清和中学校より総合的な学習の時間において社会福祉についての体験学習の依頼があり、清和地区の社会福祉施設の協力も得て8人の生徒の体験学習を受け入れた。

清和中学校3年生 8名

事前学習 日 時 平成30年6月29日(金)

場 所 清和中学校 視聴覚室

内 容 受入施設の概要説明
清和地区の地域福祉について
「清和村の保健師活動」
元保健師 高木 美穂子氏

体験学習 日 時 平成30年7月5日(木)、6日(金)

場 所 通所介護事業所 2名

訪問介護事業所 2名

支援ハウス清楽苑 2名

グループホーム緑仙館 2名

内 容 各施設において利用者の方との交流、入浴や食事、レクリエーション等の介護体験

7. 子育て支援

少子・高齢化の進展、核家族、共働き世帯の増加や雇用形態の変化などにより子育てをめぐる問題も多様化している。子供達が健全に育ち保護者が安心して働ける一助となるよう子育て家族の支援事業を展開した。

*子育て担当者会議

福祉課が主催する会議に参加し、山都町の子育てについて情報共有するとともに各関係部門からの関わりを研究する。生活困窮者自立支援事業対応の中で子育て中の困りごとを抱えている世帯について提起し今後の連携の必要性について伝える機会とした。

実施日：平成 30 年 4 月 23 日、8 月 21 日、9 月 21 日、2 月 26 日

*子供デイサービス

夏休み子供デイサービスについては、各学校単位で保護者により運営されている学童保育の充実と、学童保育を利用しない児童に対する体験の場の提供、地域の方々との交流の場の提供を目的に、企画・事業展開した。清和支部では 3 日間、蘇陽支部では 2 日間の体験型として行った。

(清和支部)

*夏休み子どもデイサービス《体験型》

・実施日と内容

7 月 26 日(木) 栄養士講話・雑巾づくり・明星学園交流

8 月 2 日(木) 支援ハウス清楽苑交流・そうめん流し・矢部高校生とのおやつ作り

8 月 3 日(金) カレー作り・緑川緑寿会と七夕交流・光回線体験

・開催時間 午前 8 時 30 分～17 時 30 分

・場 所 清和保健センター

・参加者 1 年生～3 年生 延べ 40 名 (登録者 20 名)

・ボランティア協力者数 延べ人数 49 名

協力団体：清和ボランティアさつき会、清和退職者友の会、
民生委員児童委員、緑川緑寿会、矢部高校生

(蘇陽支部)

*夏休み子どもデイサービス (2 日間)

・実施日と内容

8 月 7 日 (火) 舟の口養魚場魚釣り

8 月 8 日 (水) B&G 海洋センタープール遊び、あそ望の里広場で
宝探しゲーム

・開催時間 午前 9 時 30 分～17 時 00 分

- ・参加者 蘇陽南小学校児童 33 名
蘇陽小学校児童 38 名
協力団体：学童保育指導員

＊へき地保育所事業

30 年度は、園児数 10 名でスタートしたが、卒園児 4 名、転園児 2 名（未満児のきょうだいの関係で御岳保育園へ）を送り出した。

平成 26 年度より毎年、清和地区の保・小・中学校との連携会議等にも参加し関係機関や保健師等とのつながりもできた。30 年度は更に関係性も高まり、保護者からの相談事は保健師にも保育所に来てもらい、一緒に解決策を話し合ったりしている。又、自然豊かな環境の中で地域に根差した保育を実践。小学 1・2 年生と大川保育園年長と一緒に、プール交流、秋探し等、年間を通しての交流会がたくさん行われている。清和中 2 年生の職場体験学習や清和小学校教員の保育体験も受け入れている。七夕祖父母会は 7 月に実施し祖父母と一緒に飾りを作って竹に飾り付をし、夏祭りでは祖父母や地域の方や老人会の方々を呼んで 踊りや神輿などを披露、保護者の綿菓子やくじ引きなど出店もあり 最後は打ち上げ花火で締めくくって、楽しい夏祭りとなった。

また秋には、地域の祭りにも神輿や踊りでの参加をし、地域の方々と交流をはかり喜んでいただいている。小峰地域の老人会「清寿会」の憩いの家と保育所は隣接しているため 毎月の定例会には、声を掛け合うほほえましい光景が見られる。しめ縄作りやさわやか交流まつり等にも参加し、お年寄りとの交流もさかんに行われている。

発表会には、保護者だけでなく、地域の方々、老人会の方々にも子どもたちの頑張りをしっかり認めてもらうことができた。特別参加で老人会の出し物もあるほど、にぎやかに行われ、花を添えていただいた。

小規模ならではの、園児を中心のとした細かい関わりで、保育所運営に努めた。

8. 広報活動

＊社協機関紙「かたくり」の発行

社協職員の広報委員が、数日間編集委員会を重ねて、30 年度は 5 回機関紙を発行しました。

（発行月）4 月・6 月・9 月・1 月・3 月の 5 回発行。

（広報やまと）社協への寄付者名（香典返し・お見舞い返し等）を掲載

＊山都町社協ホームページの更新

9. 関係機関・団体との連絡・協調

＊心身障がい者支援

- ・地域活動支援センター「上益城きぼうの家」支援
「きぼうの家」へ通所者の無料送迎実施。
- ・地域活動支援センター「エッグス」への協力
- ・明星学園イベント後援
- ・身体障がい者福祉協会への協力
- ・障がい者家族会活動支援

* 民生委員・児童委員協議会

民児協の全体会・支部定例会・研修会等に参加し、相互の連携を図る。

* 老人クラブ連合会

連合会・各支部で開催の会議・大会等に参加。地区社協活動等を通じ、会員との連携を図った。

シルバーヘルパー養成講座 講師協力

生き生き老人スポーツ大会手伝い（蘇陽支部）

芸能大会手伝い（蘇陽支部）

10. 会費・寄付金・日本赤十字会費・赤い羽根共同募金納入実績

町内の区長・組長・世話係・福祉委員・婦人会等にご理解とご協力を求め徴収依頼。活動の財源確保に努めている。

* 社協会費

項 目	件 数	金 額
一般会費	4, 7 6 3	4, 7 6 3, 0 0 0
特別会費	9 7	9 7 0, 0 0 0
合 計	4, 8 6 0	5, 7 3 3, 0 0 0

* 寄付金

項 目	件 数	金 額
一般寄付	1 7	2 1 1, 8 2 5
御見舞返し	4	1 0 0, 0 0 0
香典返し	1 5 6	2, 9 2 3, 0 0 0
施設整備等経寄附金	1	1, 0 0 0, 0 0 0
合 計	1 7 8	4, 2 3 4, 8 2 5

*** 日本赤十字社会員会費**

項 目	件 数	金 額
一般会費及び寄付金	4, 7 6 6	2, 3 8 5, 4 0 2
特別会費	4	2 7, 0 0 0
法人会費	6	5 5, 0 0 0
合 計	4, 7 7 6	2, 4 6 7, 4 0 2

*** 赤い羽根共同募金**

項 目	件 数	金 額
戸別募金	4, 6 9 1	2, 1 3 1, 4 5 0
法人募金	2 0	1 5 0, 0 0 0
学校募金	9	4 7, 1 9 0
職域募金	8	1 0 5, 3 8 2
個人募金	2	8, 8 4 7
その他の募金	5 4	3 1 9, 4 6 8
合 計	4, 7 8 4	2, 7 6 2, 3 3 7

*** 日赤救援物資 配布状況**

【清和支部】

配布日	配布先	物 資 名					
		毛布	下着 セット	ビニール シート	日用品 セット	タオル ケット	タオル
	年間配布数	0	0	0	0	0	0
3/31	備蓄状況	2 0	7	3 6	7	2 0	6 0

【矢部支部】

配布日	配布先	物 資 名					
		毛布	下着 セット	ビニール シート	日用品 セット	タオル ケット	タオル
	年間配布数	0	0	0	0	0	0
3/31	備蓄状況	1 6	1 3	1 2	9	1 5	175

【蘇陽支部】

配布日	配布先	物 資 名					
		毛布	下着 セット	ビニール シート	日用品 セット	タオル ケット	タオル

	年間配付数	0	0	0	0	0	0
3/31	備蓄状況	1 7	1 3	7 2	4	1 3	4 6

1 1. 各種事業実績

* 矢部保健福祉センター千寿苑の運営 会場使用料集計

会 場	利用回数 (回)	利用人数 (人)	利用料金 (円) 消費税 8 % 含む	免除対 象 (回)	保健 社協関係
多目的ホール	175	12,787	185,717	128	5
ボランティア研修室	292	4,882	191,580	140	23
ボランティア室(半)	19	113	8,934	1	1
ボ) 研修室(半)	1	1	0	1	0
福祉相談室	60	274	11,873	14	39
教養娯楽室	94	866	41,071	36	7
会議視聴覚室	(老連作品展示室)				
生活指導室	73	1,048	12,138	54	10
栄養指導室	34	520	23,334	16	13
保健相談室	2	6	0	1	1
集団健診室	95	5,626	0	15	80
研修室 (老連事務局)	(老連事務所)				
合 計	845	26,123	474,647	406	179
旧浴室(1)筋トレ室	135	426	0	135	0
旧浴室(1)筋トレは、月・火・木曜午前9時～16時まで、1月より月・木曜の午前9時～13時までに変更される					
保健センターの研修室は老連事務局として、会議視聴覚室は作品展示室として使用					
集団健診室は、料金設定されていないため一般の受付は無し					

平成30年度 介護保険請求一覧表(月遅れ計上なし)

(単価:円)

介護保険(保険者負担額+保険者処遇改善加算+利用者負担額+利用者処遇改善加算)

介護保険	4 月(5月審査)		5 月(6月審査)		6 月(7月審査)		7 月(8月審査)		8 月(9月審査)		9 月(10月審査)		10 月(11月審査)		11 月(12月審査)		12 月(1月審査)		1 月(2月審査)		2 月(3月審査)		3 月(4月審査)		合 計	
訪問介護	45	1,454,480	44	1,467,040	44	1,432,420	43	1,482,380	45	1,472,000	41	1,415,850	43	1,504,500	42	1,454,700	42	1,485,470	42	1,344,750	42	1,349,130	40	1,505,530	513	17,368,250
清和	15	386,660	16	411,110	16	411,670	17	455,650	17	402,060	15	385,590	15	409,800	15	354,990	14	354,070	15	320,600	13	289,230	12	302,080	180	4,483,510
蘇陽	19	483,120	16	488,840	16	499,960	15	515,280	17	600,930	16	571,480	18	616,780	19	642,410	19	666,710	20	622,840	20	557,340	19	514,950	214	6,780,640
矢部	11	584,700	12	567,090	12	520,790	11	511,450	11	469,010	10	458,780	10	477,920	8	457,300	9	464,690	7	401,310	9	502,560	9	688,500	119	6,104,100
通所〔やまと〕	50	3,968,880	51	4,255,440	51	4,301,060	56	4,258,760	52	4,058,410	51	4,191,620	55	4,346,240	54	4,350,840	55	4,260,990	54	3,834,130	51	3,601,170	51	4,252,540	631	49,680,080
通所〔そよかぜ〕	34	2,284,600	36	2,457,100	35	2,346,840	36	2,263,210	30	2,141,650	32	2,249,390	34	2,455,390	36	2,474,200	36	2,604,990	33	2,064,490	32	1,988,050	32	2,272,610	406	27,602,520
居 宅	159	2,096,150	163	2,166,210	162	2,137,600	168	2,231,880	162	2,134,340	157	2,067,790	160	2,119,740	159	2,106,390	162	2,153,840	157	2,070,690	158	2,069,560	161	2,144,220	1,928	25,498,410
小 計	288	9,804,110	294	10,345,790	292	10,217,920	303	10,236,230	289	9,806,400	281	9,924,650	292	10,425,870	291	10,386,130	295	10,505,290	286	9,314,060	283	9,007,910	284	10,174,900	3,478	120,149,260

総合事業(保険者負担額+利用者負担額)

総合事業	4 月(5月審査)		5 月(6月審査)		6 月(7月審査)		7 月(8月審査)		8 月(9月審査)		9 月(10月審査)		10 月(11月審査)		11 月(12月審査)		12 月(1月審査)		1 月(2月審査)		2 月(3月審査)		3 月(4月審査)		合 計	
訪問介護(独立/定率)	30	582,550	32	573,480	30	554,740	26	547,680	29	500,480	27	455,460	24	481,400	25	439,870	27	489,680	29	512,160	30	545,980	30	564,210	339	6,247,690
清和	6	115,240	6	113,880	6	113,880	5	110,960	6	105,120	6	116,800	6	119,720	7	140,160	8	178,120	9	174,320	9	183,080	9	191,500	83	1,662,780
蘇陽	12	255,030	14	267,760	14	284,400	12	257,950	14	275,640	14	228,920	10	194,760	10	163,520	11	197,680	12	226,880	12	232,720	12	221,920	147	2,807,180
矢部	12	212,280	12	191,840	10	156,460	9	178,770	9	119,720	7	109,740	8	166,920	8	136,190	8	113,880	8	110,960	9	130,180	9	150,790	109	1,777,730
通所〔やまと〕(独立/定率)	18	481,860	17	471,420	18	486,540	19	469,260	20	535,140	19	508,680	20	515,160	20	500,040	20	545,760	19	478,260	18	473,400	17	449,280	225	5,914,800
通所型(独立/定率)	11	369,540	13	419,940	12	392,940	16	422,460	16	469,620	15	447,840	15	435,600	17	462,600	17	498,960	16	436,140	15	426,600	15	416,520	178	5,198,760
通所型(事業対象者)	7	112,320	4	51,480	6	93,600	3	46,800	4	65,520	4	60,840	5	79,560	3	37,440	3	46,800	3	42,120	3	46,800	2	32,760	47	716,040
通所〔そよかぜ〕(独立/定率)	10	277,380	10	281,880	10	290,880	10	308,160	10	308,160	9	275,400	9	253,980	13	311,580	13	328,140	14	328,860	15	352,620	15	351,900	138	3,668,940
小 計	58	1,341,790	59	1,326,780	58	1,332,160	55	1,325,100	59	1,343,780	55	1,239,540	53	1,250,540	58	1,251,490	60	1,363,580	62	1,319,280	63	1,372,000	62	1,365,390	702	15,831,430

居宅介護原案

支援総合事業	4 月(5月審査)		5 月(6月審査)		6 月(7月審査)		7 月(8月審査)		8 月(9月審査)		9 月(10月審査)		10 月(11月審査)		11 月(12月審査)		12 月(1月審査)		1 月(2月審査)		2 月(3月審査)		3 月(4月審査)		合 計	
サービス計画作成費	22	94,600	22	97,600	20	86,000	18	80,400	19	81,700	20	89,000	21	93,300	22	94,600	20	86,000	21	90,300	19	81,700	19	77,400	243	1,052,600
ケアマネジメント費	6	25,800	7	33,100	6	25,800	7	30,100	6	25,800	5	21,500	4	17,200	3	12,900	3	12,900	4	20,200	4	17,200	4	17,200	59	259,700
合 計	28	120,400	29	130,700	26	111,800	25	110,500	25	107,500	25	110,500	25	110,500	25	107,500	23	98,900	25	110,500	23	98,900	23	94,600	302	1,312,300

介護保険+総合事業+原案	4 月(5月審査)		5 月(6月審査)		6 月(7月審査)		7 月(8月審査)		8 月(9月審査)		9 月(10月審査)		10 月(11月審査)		11 月(12月審査)		12 月(1月審査)		1 月(2月審査)		2 月(3月審査)		3 月(4月審査)		総 合 計	
総合計	374	11,266,300	382	11,803,270	376	11,661,880	383	11,671,830	373	11,257,680	361	11,274,690	370	11,786,910	374	11,745,120	378	11,967,770	373	10,743,840	369	10,478,810	369	11,634,890	4,482	137,292,990

地域支援事業・障害者総合支援事業

(平成30年4月～平成31年3月まで)

			障害者自立支援事業					
	食の宅配 サービス事業		移動支援事業				居宅介護事業	
			きぼうの家		個別支援			
	人数	回数	回数	時間	人数	時間	人数	時間
4月	30	413	8	18.0	0	0.0	9	168.5
5月	31	456	9	18.5	0	0.0	9	171.0
6月	33	460	8	16	1	1.0	9	172.0
7月	30	458	9	18.5	0	0.0	9	170.5
8月	30	428	8	16.5	0	0.0	7	153.0
9月	35	475	7	14	0	0.0	9	96.0
10月	33	495	9	18.0	0	0.0	9	147.0
11月	31	443	9	18.0	0	0.0	11	183.7
12月	30	424	8	16	0	0.0	16	199.8
1月	31	399	8	16	0	0.0	11	186.0
2月	32	452	8	16.5	0	0.0	12	118.5
3月	36	531	7	14.0	0	0.0	12	350.0
	382	5,434	98	200.0	1	1.0	123	2115.9

1 2. その他

*社協管理 住宅入居状況 (31 年 3 月 31 日現在)

清和支部

	部屋総数	定員数	入居者数
生活支援ハウス清楽苑	1 6	1 8	1 8

蘇陽支部

	部屋総数	定員数	入居者数
大久保高齢者住宅	7	9	7

*職員研修会

日 時：平成 3 1 年 3 月 1 3 日(水) 午後 6 時～

場 所：清和基幹山村集落センター

内 容：メンタルヘルスケア ～ストレスケアについて～

参加者：職員 4 3 名

*平成 30 年度職員資格取得状況(31 年 3 月 31 日現在)

	取得人数	現在在籍数
社会福祉士	0 名	(4 名)
介護福祉士	0 名	(3 2 名)
介護支援専門員	0 名	(1 6 名)
認知症ケア専門士	0 名	(1 名)